

平成20年度

田原本町教育委員会活動点検評価報告書

平成21年2月

田原本町教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第27条第1項の規定に基づき、平成19年度に田原本町教育委員会が実施した教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の結果について報告します。

平成21年2月13日

田原本町教育委員会

## 目 次

○ はじめに	1
○ 教育委員会	3
○ 点検・評価項目	
・ 幼児教育の推進	4
・ 小・中学校教育の推進	6
・ 障害児教育の推進	8
・ 学習体制の充実	10
・ 生涯学習環境の充実	12
・ 図書館事業の充実	14
・ 文化活動の促進	16
・ スポーツに親しむ環境の整備	18
・ スポーツ・レクリエーション活動の普及・啓発	20
・ 生涯スポーツの推進	22
・ 文化財の保存整備体制の充実	24
・ 歴史遺産の活用	26
・ 郷土愛・文化財愛護精神の育成	28

## I はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、平成20年4月から、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。

この報告書は、同法の規定に基づき、田原本町教育委員会が行った点検・評価の結果をまとめたものです。

## II 点検・評価の基本方針

### 1 点検・評価の目的

法改正を受け、町教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行状況を自ら点検・評価し、その結果を議会に報告するとともに、住民に公表することといたしました。

この点検・評価は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民に対する説明責任を果たしていくことを目的としています。

### 2 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、「田原本町第3次総合計画」第2章「人が生きいきと輝くまなびのまちづくり」の教育関連施策を点検・評価の対象としました。

点検・評価の対象年度は、平成19年度です。

- (1) 田原本町教育委員会の運営・活動状況
- (2) 「田原本町第3次総合計画」に基づく施策体系ごとの点検・評価(13施策)

### 3 点検・評価の方法

「田原本町第3次総合計画」に基づく施策体系ごとに、進捗状況の参考となる指標及び実施事務事業の実績を掲載しています。

上記の指標及び実施事務事業の実績を基に、教育委員会で点検・評価を行っています。評価にあたっては、客観性を確保するために、外部の学識経験を有する方から施策や事業についてご意見をいただいております。

#### 【点検評価委員】

(敬称略 五十音順)

氏名	所属	役職
竹村 佳也	田原本町公平委員会	委員長
藤井 フミ子	奈良大学	非常勤講師

## 田原本町教育委員会の運営・活動状況

### 1 教育委員

(平成21年 3月 1日現在)

職名	氏名	職業	就任年月日	任期満了年月日
委員長	大西 宏興	無職	H13. 12. 24	H21. 12. 23
委員	里見 大聞	僧侶	H15. 12. 22	H23. 12. 21
委員	川本 益弘	無職	H16. 12. 23	H24. 12. 22
委員				
委員(教育長)	濱川 利郎	公務員	H19. 04. 01	H21. 03. 31

### 2 教育委員会議の開催状況

- ・教育委員会定例会……10回
- ・教育委員会臨時会…… 1回

### 3 教育委員会議の審議状況

- ・報告事項……15件
- ・審議事項……23件

### 4 教育委員の活動状況

- ・定期学校訪問実施(年1回)……幼稚園5園・小学校5校・中学校2校
- ・幼稚園・小学校・中学校行事への参加……入園式・入学式・運動会・卒園式・卒業式及び各種研究会等
- ・各種研修会への参加……近畿市町村教育委員研修大会・奈良県市町村教育委員研修大会・人権教育各種研究大会・青少年健全育成各種研究大会等
- ・各種行事への参加……成人式等

### 施策評価シート(対象:H19年度実施施策)

施策名	幼児教育の推進			総合計画位置づけ	2-1-1
部名	教育委員会	主担当課名	教育総務課	担当課名	

#### 1. 施策概要

めざす 成果目的	幼児の心身の健全な発育を促すため、幼稚園・保育園・家庭が連携し幼児教育の充実を図る。また、保護者の経済的負担を軽減することにより、多くの幼児が充実した幼児教育を受けることができ、保護者も経済的な不安を感じないで通園させることができる。
施策概要	幼児教育環境の整備。就学前教育の推進。安心・安全な幼児教育環境の創出。幼児教育の支援。

#### 2. 実施結果

指標名 説明	単 位	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	前期基本計画目標 H23年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 公立私立幼稚園就園率 対象年齢者に対する公立・私 立幼稚園の園児在籍率	%	60	60	60	60	60
		62	—	—	—	—
②			—	—	—	—
③ (説明)			—	—	—	—

#### 施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H19年度)

事務事業名	担当課名	H19年度事業費 (決算額)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
幼稚園運営事業	教育総務課	19,745	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果 が得られた	B:見直す余地がある が時間が必要
幼稚園施設管理整備事業	教育総務課	6,594	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果 が得られた	B:見直す余地がある が時間が必要
幼稚園就園援助事業	教育総務課	1,848	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果 が得られた	B:見直す余地がある が時間が必要
計		28,187			



## 施策評価シート(対象:H19年度実施施策)

施策名	小・中学校教育の推進	総合計画位置づけ	2-1-2
部名	教育委員会	主担当課名	教育総務課
		担当課名	—

### 1. 施策概要

めざす成果目的	児童・生徒及び保護者にとって、安全で安心できる学校に通学できるようにし、確かな学力の定着を図ると共に、体力を向上させ、心豊かな人間性を育む。
施策概要	教育環境の整備。職業観や人生観の醸成。教育体制の確立。安心・安全な教育環境の整備。関係機関との連携。

### 2. 実施結果

指標名 説明	単位	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	前期基本計画目標 H23年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 学校施設の耐震化率 強度を確保している学校施設の割合	%	46	50	58	67	74
		46	—	—	—	—
② 中学生の職場就労体験日数 中学生の職場体験学習の就労日数	日	3	3	3	3	3
		3	—	—	—	—
③ 小学校へのALT(外国語指導助手)の派遣日数 小学校5校へのALT派遣日数	日	54	56	56	56	56
		54	—	—	—	—

#### 施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H19年度)

事務事業名	担当課名	H19年度事業費 (決算額)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
小学校運営事業	教育総務課	66,987	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
小学校施設管理整備事業	教育総務課	25,955	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
小学校校舎等耐震化事業	教育総務課	24,581	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
小学校給食運営事業	教育総務課	18,769	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
小学校給食施設管理事業	教育総務課	2,517	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
小・中学校就学援助事業	教育総務課	13,230	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
中学校運営事業	教育総務課	36,099	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
中学校施設管理整備事業	教育総務課	17,178	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
中学校校舎等耐震化事業	教育総務課	89,313	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
ALT派遣事業	教育総務課	4,970	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
小・中学校不登校対策事業	教育総務課	5,812	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
高校進学支度金事業	教育総務課	150	C:低い	C:目標とする成果が得られなかった	A:見直す余地があり直ぐに実施
<b>計</b>		305,561			

### 3. 施策の分析

達成度  (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 最終目標(H23)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input checked="" type="radio"/> B 最終目標(H23)達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(H23)達成が難しい 児童・生徒の学力向上を目指し基礎・基本の学習に取り組んでいる。引き続き一人ひとりを大切に学習を進める。また、耐震化工事に関しては、学校施設耐震化計画によりほぼ順調に工事を施工している。
必要性  (ニーズは今後どう変化するか)	<input checked="" type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある 体力の向上を図るため、運動する機会を確保するとともに、読書教育並びに食育を推進する必要がある。また、耐震化工事に関しては、日本国内はもとより、世界各地で大規模な地震が発生しており、学校施設耐震化計画を前倒して施工する必要があるのかを検討する。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 社会状況の変化に伴い、児童生徒の基本的な生活習慣が乱れる傾向にある。耐震化工事に関しては、施工に多額の工事費が必要となるため、財源の確保が課題である。

### 4. 次年度の展開方針

施策の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 〔複数選択可〕 <input type="checkbox"/> 重点化して推進 <input type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 田原本町教育委員会が策定した「学校教育の指導方針」の主旨にそって「未来に向かって自立的に生きる子ども」の育成をめざして地域や園・学校の実態をふまえ、組織的で計画的な取り組みをすすめる。				
施策を構成する主要な事務事業の方向性	事務事業名	H19年度決算	H20年度予算	優先性	H21に向けた経営資源(事業費)の方向性
	小学校運営事業	66,987	63,858	3	現状のまま
	小学校施設管理整備事業	25,955	24,937	3	現状のまま
	小学校校舎等耐震化事業	24,581	63,112	5	現状のまま
	小学校給食運営事業	18,769	18,337	3	現状のまま
	小学校給食施設管理事業	2,517	4,136	3	現状のまま
	小・中学校就学援助事業	13,230	15,317	3	現状のまま
	中学校運営事業	36,099	40,269	3	現状のまま
	中学校施設管理整備事業	17,178	8,284	3	現状のまま
	中学校校舎等耐震化事業	89,313	0	5	現状のまま
	ALT派遣事業	4,970	5,000	4	現状のまま
	小・中学校不登校対策事業	5,812	8,931	4	現状のまま
	高校進学支度金事業	150	700	1	H20で休止・廃止・終了
	【新規】	—	—		—
	計	305,561	252,881		
内部評価のコメント	児童生徒の個性を活かす教育や学校施設等の整備を進め、学校教育全体の充実を図る。				
外部評価委員のコメント	学校における環境整備は、学力向上に欠かすことのできない要素の一つであり、計画的な施設整備を図るとともに、教職員の資質向上と人員の確保に努めていただきたい。				

## 施策評価シート(対象:H19年度実施施策)

施策名	障害児教育の推進	総合計画位置づけ	2-1-3
部名	教育委員会	主担当課名	教育総務課
		担当課名	—

### 1. 施策概要

めざす成果目的	学習障害(LD)、注意欠陥/多動性障害(ADHD)、高機能自閉症等も含めて、障害のある幼児・児童・生徒がいきいきとした学校生活を送り、一層の自立と社会参加を促す。
施策概要	適切な教育の推進。就学の支援。

### 2. 実施結果

指標名 説明	単位	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	前期基本計画目標 H23年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 特別支援教育コーディネーターの学校配置率	%	100	100	100	100	100
		100	—	—	—	—
② 特別支援教育支援員の学校配置率	%	20	40	60	80	100
		20	—	—	—	—
③ 障害のある児童・生徒の就学率	%	100	100	100	100	100
		100	—	—	—	—

#### 施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H19年度)

事務事業名	担当課名	H19年度事業費 (決算額)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
小・中学校就学援助事業	教育総務課	13,230	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		13,230			



## 施策評価シート(対象:H19年度実施施策)

施策名	学習体制の充実			総合計画位置づけ	2-2-1
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課	担当課名	—

### 1. 施策概要

めざす成果目的	多様化する町民のニーズに応え、自発的に学習できる体制の充実を図り、様々な学習機会を通じて人と人の繋がりを広げ、豊かなまちづくりを目指す。
施策概要	各種教室・講演会・地区別懇談会等を開催し、様々な学習機会の提供。

### 2. 実施結果

指標名 説明	単位	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	前期基本計画目標 H23年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 生涯学習等の参加者数		10,150	10,400	10,500	10,550	10,550
	一年間に開催した教室等の参加者数	10,722	—	—	—	—
② 生涯学習等の開催数		406	401	396	386	386
	一年間に開催した教室等の数	409	—	—	—	—
③						
			—	—	—	—

#### 施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H19年度)

事務事業名	担当課名	H19年度事業費 (決算額)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
社会教育推進事業	生涯教育課	1,336	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
人権教育推進事業	生涯教育課	2,033	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
生涯学習推進事業	生涯教育課	6,691	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
青少年教育推進事業	生涯教育課	6,049	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		16,109			



### 施策評価シート(対象:H19年度実施施策)

施策名	生涯学習環境の充実			総合計画位置づけ	2-2-2
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課	担当課名	—

#### 1. 施策概要

めざす 成果目的	町民に身近な学習活動・文化活動の場を提供し、より多くの町民の学習意欲を促進するとともに、利用者や来館者が、安全・快適に利用できる施設としての環境を整える。
施策概要	生涯学習施設として町民に活用されており、安全・快適に利用できるよう、保守点検・清掃業務等は民間の専門業者・シルバー人材センターに委託し管理している。

#### 2. 実施結果

指標名 説明	単位	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	前期基本計画目標 H23年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 管理点検回数 一年間の管理点検を実施した回数		300	300	300	300	300
		300	—	—	—	—
② 公民館貸館件数 公民館の一年間の貸館件数		3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
		2,505	—	—	—	—
③ 利用人数 公民館の一年間の利用人数		55,000	55,000	55,000	55,000	55,000
		53,000	—	—	—	—

#### 施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H19年度)

事務事業名	担当課名	H19年度事業費 (決算額)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
生涯学習センター管理事業	生涯教育課	86,582	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
公民館貸館事業	生涯教育課	0	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		86,582			



## 施策評価シート(対象:H19年度実施施策)

施策名	図書館事業の充実			総合計画位置づけ	2-2-3
部名	教育委員会	主担当課名	図書館	担当課名	—

### 1. 施策概要

めざす成果目的	市民が読書の楽しみを知り、趣味や生きがいを持って豊かな生活が送れるように資料を提供し、自発的な学習の支援を行うと共に、地域の情報拠点としての図書館サービスの充実をはかる。
施策概要	郷土資料を含む多種多様な分野の資料を収集し、蔵書の充実を図る。学校等との連携を図り、子どもの読書活動を推進する。各種講習会や広報活動を行い、利用の促進を図る。録音図書を作成、点字資料・大活字本の収集を行ない、障害者サービスの充実を図る。多様なリファレンスに対応するため、資料に精通した職員の育成に努める。

### 2. 実施結果

指標名 説明	単位	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	前期基本計画目標 H23年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 蔵書冊数  (説明) 年度末の蔵書冊数	冊	150,000	157,000	164,000	171,000	178,000
		151,074	—	—	—	—
② 貸出冊数  (説明) 年間の個人・団体・相互総貸出冊数	冊	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000
		537,911	—	—	—	—
③ 実質登録率  (説明) 1年間で1冊でも本を借りた市民の割合	%	50	50	50	50	50
		23.5	—	—	—	—

#### 施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H19年度)

事務事業名	担当課名	H19年度事業費 (決算額)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
図書館資料収集管理事業	図書館	16,860	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
資料提供事業	図書館	4,951	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
図書館利用促進事業	図書館	0	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
子ども読書活動推進事業	図書館	67	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
障害者サービス事業	図書館	22	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	A:見直す余地があり直ぐに実施
図書館専門職員の育成事業	図書館	29	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		21,929			



### 施策評価シート(対象:H19年度実施施策)

施策名	文化活動の促進			総合計画位置づけ	2-2-4
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課	担当課名	—

#### 1. 施策概要

めざす 成果目的	文化活動に参加できる機会を提供することにより住民が文化に親しむとともに、芸術文化にふれる機会や活動への支援をすすめ、町民の文化活動への拡充を図る。
施策概要	文化祭・ホール自主事業等を開催し、様々な芸術文化活動の機会を提供する。

#### 2. 実施結果

指標名 説明	単位	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	前期基本計画目標 H23年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 自主事業の開催数 一年間に開催した自主事業数	回	11	8	8	8	8
		11	—	—	—	—
② 出展数 文化祭の出展数	点	560	580	600	600	600
		591	—	—	—	—
③ 来場者数 文化祭の来場者数	人	4,000	4,500	5,000	5,000	5,000
		4,500	—	—	—	—

#### 施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H19年度)

事務事業名	担当課名	H19年度事業費 (決算額)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
弥生の里ホール運営事業	生涯教育課	2,821	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地がある が時間が必要
文化活動促進事業	生涯教育課	1,344	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地がある が時間が必要
計		4,165			



### 施策評価シート(対象:H19年度実施施策)

施策名	スポーツに親しむ環境の整備	総合計画位置づけ	2-3-1
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課
		担当課名	—

#### 1. 施策概要

めざす成果目的	いつでも、どこでも、だれもがスポーツのできる場の充実を図るため、スポーツ施設の環境整備を促進する。
施策概要	町民のスポーツ活動の場として活性化するよう、だれもが気軽に利用、参加できる各施設の器具の点検等の環境の整備を行う。

#### 2. 実施結果

指標名 説明	単位	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	前期基本計画目標 H23年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 施設見回り回数 (説明) 施設の年間見回り回数	回	200	200	200	200	200
		200	—	—	—	—
② 施設の整備日数 (説明) 年間の整備回数	回	150	150	150	150	150
		150	—	—	—	—
③	件					
			—	—	—	—

#### 施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H19年度)

事務事業名	担当課名	H19年度事業費 (決算額)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
体育設備管理事業	生涯教育課	26,390	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	C:見直す余地がない
計		26,390			



### 施策評価シート(対象:H19年度実施施策)

施策名	スポーツ・レクリエーション活動の普及・啓発	総合計画位置づけ	2-3-2
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課
		担当課名	

#### 1. 施策概要

めざす 成果目的	住民だれもが気軽にスポーツ・レクリエーション活動に参加できるよう、活動機会の拡充を図る。
施策概要	スポーツ教室や各種競技大会等の開催。

#### 2. 実施結果

指標名 説明	単位	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	前期基本計画目標 H23年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① スポーツ教室参加人数  (説明)テニス・ソフトテニス・ ジュニアサッカー・バドミントン・ 卓球・リズム教室に参加人数	人	250	250	250	250	250
		237	—	—	—	—
② スポーツ大会参加人数  (説明)春季・秋季総合競技大会・ マラソン大会・駅伝大会に 参加した人数	人	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
		4,195	—	—	—	—
③						
			—	—	—	—

#### 施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H19年度)

事務事業名	担当課名	H19年度事業費 (決算額)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
社会体育振興事業	生涯教育	7,099	B:普通	B:概ね目標の成 果が得られた	B:見直す余地がある が時間が必要
計		7,099			



### 施策評価シート(対象:H19年度実施施策)

施策名	生涯スポーツの推進	総合計画位置づけ	2-3-3
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課
		担当課名	—

#### 1. 施策概要

めざす成果目的	町民が生涯にわたり、健康で充実した生活が送れるよう、また自主的・継続的にスポーツ活動ができるよう生涯スポーツを推進する。
施策概要	町民の多様なニーズに対応できるよう、指導者の育成を図る。

#### 2. 実施結果

指標名 説明	単位	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	前期基本計画目標 H23年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 研修会の開催数 (説明)指導者の育成研修		0	2	2	2	2
		0	—	—	—	—
②						
			—	—	—	—
③						
			—	—	—	—

#### 施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H19年度)

事務事業名	担当課名	H19年度事業費 (決算額)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
社会体育振興事業	生涯教育	0	B:普通	C:目標とする成果が 得られなかった	B:見直す余地がある が時間が必要
計		0			



**施策評価シート(対象:H19年度実施施策)**

施策名	文化財の保存整備体制の充実		総合計画位置づけ	2-4-1
部名	教育委員会	主担当課名	文化財保存課	担当課名
				-

**1. 施策概要**

めざす 成果目的	文化財を将来にわたって、保存・管理し、文化財情報を発信できる状態にする。
施策概要	発掘調査された出土品や写真・図面資料等を整理し、出土品の内容を一般公開していく。

**2. 実施結果**

指標名 説明	単位	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	前期基本計画目標 H23年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 出土品の整理箱延べ数/ 年間  (説明)発掘調査によって出土 した遺物の整理延べ箱数		150	100	100	100	100
		100	—	—	—	—
② 資料の登載点数  (説明)展覧会用・書籍掲載用 に貸出できる状態になった遺 物点数		500	200	200	200	200
		576	—	—	—	—
③ 資料の貸出点数  (説明)展覧会用に貸出した遺 物点数や書籍掲載用に貸出 した写真点数		200	200	200	200	200
		204	—	—	—	—

**施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H19年度)**

事務事業名	担当課名	H19年度事業費 (決算額)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
出土品整理事業	文化財保存課	3,133	A:高い(義務)	C:目標とする成果が 得られなかった	C:見直す余地が ない
文化財資料の管理	文化財保存課	7,454	A:高い(義務)	A:目標よりも大きな 成果が得られた	C:見直す余地が ない
計		10,587			



### 施策評価シート(対象:H19年度実施施策)

施策名	歴史遺産の活用			総合計画位置づけ	2-4-2
部名	教育委員会	主担当課名	文化財保存課	担当課名	-

#### 1. 施策概要

めざす成果目的	唐古・鍵考古学ミュージアムにおいて、発掘調査の成果やミュージアムの収蔵品、町内の文化財等を紹介する展覧会を開催し、来館者に文化財愛護意識を高めるようにする。
施策概要	ミュージアムを開館し、常設展を観覧できるようにする。また、田原本青垣生涯学習センター会議室において、春季・秋季の企画展を延べ64日間開催する。夏季・冬季の約2ヶ月間は、ミュージアム前のエントランスにてミニ展示を開催する。

#### 2. 実施結果

指標名 説明	単位	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	前期基本計画目標 H23年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 常設展来館者数  (説明)常設展示(約306日間)を観覧した人数		8,500	7,700	7,800	7,000	6,500
		8,990	—	—	—	—
② 企画展来館者数  (説明)年2回64日間の企画展に入館した人数		2,500	2,200	2,000	1,800	1,600
		3,437	—	—	—	—
③ 常設展案内ボランティア参加延べ人数		500	500	500	500	500
		562	—	—	—	—

#### 施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H19年度)

事務事業名	担当課名	H19年度事業費 (決算額)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
企画展開催事業	文化財保存課	3,083	A:高い(義務)	A:目標よりも大きな成果が得られた	C:見直す余地がない
町内遺跡発掘調査事業	文化財保存課	1,690	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	C:見直す余地がない
受託事業	文化財保存課	5,388	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	C:見直す余地がない
発掘調査・各課調整事務事業	文化財保存課		A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	C:見直す余地がない
報告書刊行事業	文化財保存課	9,352	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	C:見直す余地がない
計		19,513			



## 施策評価シート(対象:H19年度実施施策)

施策名	郷土愛・文化財愛護精神の育成	総合計画位置づけ	2-4-3
部名	教育委員会	主担当課名	文化財保存課
		担当課名	—

### 1. 施策概要

めざす成果目的	青少年や町民が、文化財の知識を深めるとともに身近にある文化財に対して愛護精神を高め、郷土愛が育成されたまちになっている。
施策概要	考古学講座や体験学習の場を開催するとともに、学校とも連携をとりそれを支援するボランティア組織と文化財活用を図る。また、身近な町の文化財を顕彰保存するために、町指定文化財の選定をおこなう。

### 2. 実施結果

指標名 説明	単位	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	前期基本計画目標 H23年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 講座・体験学習等参加人数 (説明)考古学講座・体験学習・小学校総合学習等参加人数		500	600	600	600	600
		733	—	—	—	—
② 町指定文化財延べ件数 (説明)指定した物件の点数		3	1	1	1	1
		3	—	—	—	—
③ ボランティア活動人数		1,000	1,000	1,000	1,000	650
		1,145	—	—	—	—

#### 施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H19年度)

事務事業名	担当課名	H19年度事業費 (決算額)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
ボランティア活動支援事業	文化財保存課	27	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	C:見直す余地がない
考古学講座開催事業	文化財保存課	30	B:普通	A:目標よりも大きな成果が得られた	C:見直す余地がない
体験学習事業	文化財保存課	30	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	C:見直す余地がない
文化財の啓発・普及・活用事業	文化財保存課	1,152	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	C:見直す余地がない
町文化財指定事業	文化財保存課	384	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	C:見直す余地がない
指定文化財等保護啓発管理事業	文化財保存課	248	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	C:見直す余地がない
史跡管理保護事業	文化財保存課	2,428	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	C:見直す余地がない
唐古・鍵考古学ミュージアム運営管理事業	文化財保存課	2,477	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	C:見直す余地がない
計		6,776			

